

## **<201> 問題解決型の学習指導のイメージとは？**

生徒が主体的に問題解決する学習活動へ取り組んでいく、問題解決型の学習指導のイメージを、習得型の学習指導と比べた例などでみていきたいと思います。問題解決型の学習指導で、生徒自らが主体的に学ぶ「学習しぐさ」が出てくれば、最高です。なお、生徒自らが主体的に学ぶ「学習しぐさ」については、「<205> 問題解決の学習指導で授業改善するコツは？」の参考資料『各学習活動（サンドイッチ型）で見せる「学習しぐさ」の具体例』をご覧になって下さい。

<b>一斉指導の習得型の学習指導</b>		<b>個別支援の問題解決型の学習指導</b>
<b>教師の姿勢</b>	黒板を使い指導内容を伝授する割合が多い  	個別支援の割合が多い  
<b>生徒の学習しぐさ</b>	教師からの説明を一斉の姿勢で、一方的に聞く割合が多い  	主体的に互いに相談する姿が多く見られる  
<b>授業構成</b>	○基礎学習は、導入 → 板書で説明 → 写す・覚える → 確認 ○実習作業は、準備 → 説明 → 作業 → 作業→ 片付け	サンドイッチ型*の「学力の3要素」を意識したメリハリある授業構成で、問題解決する課題提示の一斉指導後に、個別学習、個別支援が中心
<b>働きかけの方法</b>	○一斉指導 → 質問 → 挙手 → 指名 → 返答 → YES or NO → 補足指導のパターンが多い ○教卓に固定位置、机間指導の割合が多い ○一斉の学習指導で、一斉の学習活動 ○教師は、腕組み、威圧感の姿勢で命令的な投げかけ	○即答を避け、間を置き再質問する、教師の存在を感じさせない位置や机間支援 ○生徒自らが考えられるように「これを参考にして、この資料を見て考えてみたら！」と支援資料をさりげなく提供する ○命令口調を少なくして、助言や相談口調を多くする

\* サンドイッチ型の授業構成については、<106>「メリハリある学習指導のエッセンスは？」をご覧になって下さい。